

気候市民会議 実践ワークショップ
～日本と英国の地域における開催事例を中心に～

英国における気候市民会議の展開

甲斐沼 美紀子、石川 智子

地球環境戦略研究機関(IGES)

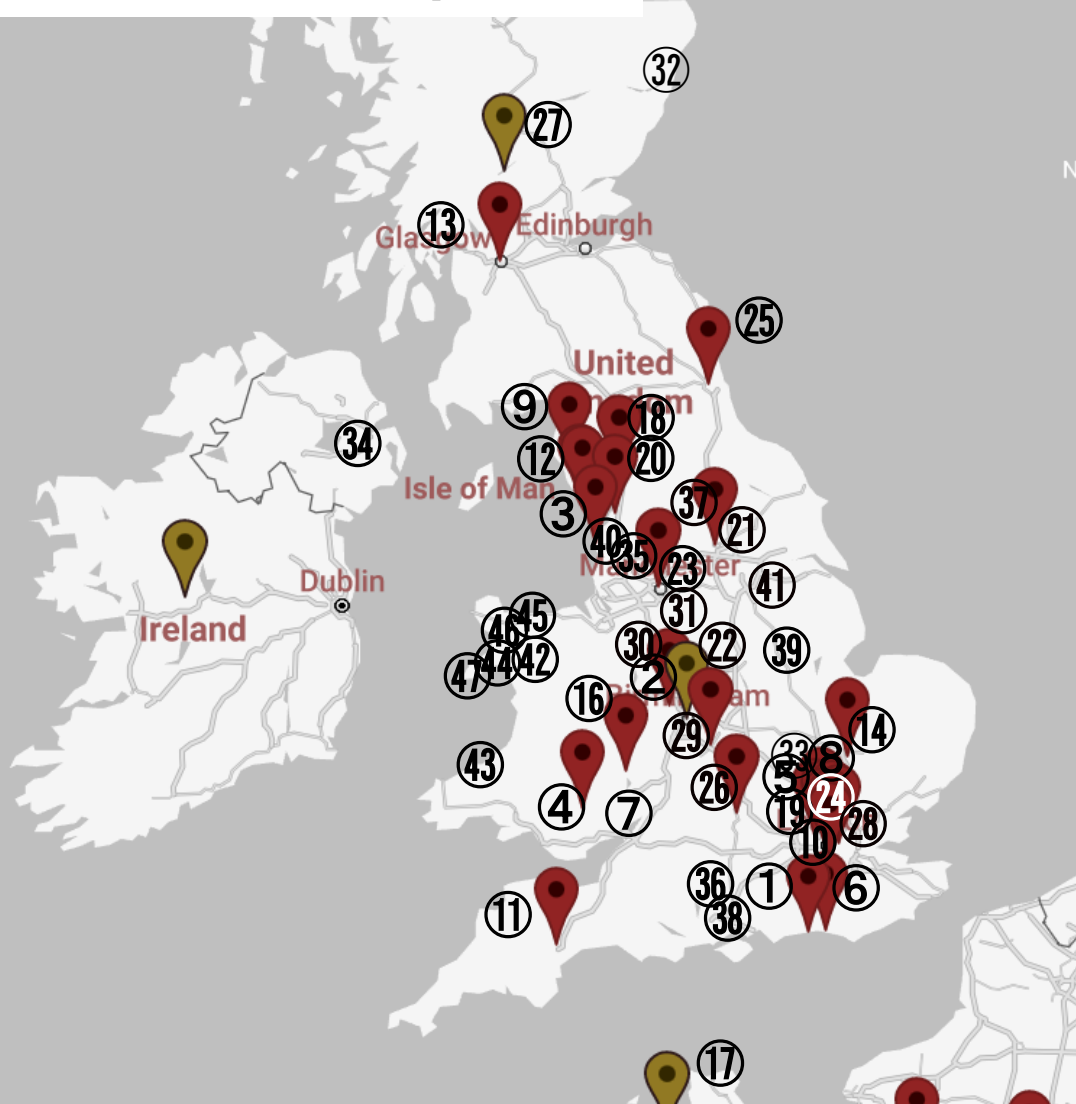
2024年3月14日(木)

これから話すこと

- 英国における気候市民会議/市民陪審
- 気候市民会議/市民陪審の特徴
- 気候市民会議/市民陪審のインパクト

英国での気候市民会議/市民陪審

ネットゼロ宣言をした多くの自治体で市民の意見を聞くための気候市民会議が開かれている。**ネットゼロ宣言＋気候市民会議＋行動計画**



- | | | |
|----------------------|--|------------------------------------|
| ① Adur & Worthing | ①7 Jersey | ③2 Aberdeen (Jury/Panel) |
| ② Birmingham | (イギリス王室属領) | ③3 <u>Barnet</u> |
| ③ Blackpool | ①8 Kendal | ③4 Belfast |
| ④ Blaenau Gwent | ①9 <i>Lambeth</i> | ③5 <u>Blackburn with Darwen</u> |
| ⑤ <i>Brent</i> | ②0 Lancaster | ③6 Romsey |
| ⑥ Brighton & Hove | ②1 Leeds | ③7 Shipley |
| ⑦ Bristol (COVID-19) | ②2 Leicester | ③8 <u>Southampton</u> |
| ⑧ <i>Camden</i> | ②3 Manchester | ③9 Nottingham (summer 2024) |
| ⑨ Copeland | ②4 <i>Newham</i> | ④0 Preston (開催宣言) |
| ⑩ <i>Croydon</i> | ②5 North of Tyne | ④1 South Yorkshire (開催宣言) |
| ⑪ Devon | ②6 Oxford/Assem;
Oxford/Jury | コミュニティ会議 |
| ⑫ Furness | ②7 Scotland | ④2 <u>Bro Ffestiniog</u> |
| ⑬ Glasgow | ②8 Southwark | ④3 <u>Bude</u> |
| ⑭ Greater Cambridge | ②9 Warwick | ④4 <u>Deffryn Nantlle</u> |
| ⑮ <i>Hackney</i> | ③0 Wolverhampton | ④5 <u>Dyffryn Ogwen</u> |
| ⑯ Herefordshire | ③1 UKCA | ④6 <u>Dyffryn Peris</u> |
| | | ④7 <u>Pen Llŷn</u> |

(黒字は市民会議; 赤字は市民陪審;
斜字はロンドン自治区; アンダーライン
は2023年以降)

資料：KNOCA. <https://knoca.eu/>とCitizens' Assemblies worldwide. <https://www.buergerrat.de/en/citizens-assemblies/citizens-assemblies-worldwide/>をベースに作成

英国気候市民会議



主催: ビジネス・エネルギー・産業戦略 (BEIS) 委員会を含む **下院6特別委員会** が主催。Extinction Rebellionなどの社会活動家も実施を求めた(2020年1月から5月までに計6回。参加者108名。セッション4-6はオンライン。人口約6700万人)。

ミッション: 2050年までに英国で**ネットゼロ**を実現するための政策について提言すること。移動、家庭の中、購買・土地利用・食料・農業の3グループに分かれて、エネルギーに関しては全体で討議。

政策提言: 2020年9月に報告書を提出。50以上の提言。低排出バス及び電車への政府による投資、より小規模の組織がエネルギーサービスを提供できるような支援、食料及び飲料製品のラベリングの実施、風力・太陽光を英国のネットゼロへの道筋の中心に据えるなどを提言。

インパクト: BEIS委員会は**追跡調査** (Inquiry) を実施。



Climate Assembly UK members on Zoom

出典: 英国気候市民会議.
<https://www.parliament.uk/business/news/2020/september/climate-assembly-uk-new/>

スコットランド気候市民会議



<https://www.gov.scot/publications/scottish-government-response-scotlands-climate-assembly-recommendations-action/>

主催: スコットランド**気候変動法**に基づいて開催。行政府と立法府が合意して開催。(2020年11月から2021年3月までに計7回。プラス2022年2月に第8回目。参加者102名。人口約550万人)

ミッション: **2030年までに75%削減**と、**2045年にネットゼロ**をどう達成するかを提言すること。食事・土地利用・ライフスタイル、家庭・コミュニティ、旅行・仕事の3つのサブグループに分かれて議論。日ごとにローテーション

政策提言: 2021年6月に報告書を提出。16の分野のもとに81の提言。16の分野とは、「資源、建物の質、住宅の改良、基準と規制、公共交通、移動に伴る排出、カーボンラベリング、教育、土地利用、コミュニティ、循環経済、仕事とボランティア、ビジネス、20分コミュニティ、課税、進捗の計測」

特徴: 子供議会を併設。オープンガバメント(透明性、市民の参加、官民の連携)、参加型予算、公正な移行委員会など、**住民の意見の取り込みを重視**。

Source: Based on the report of
<https://cdn.goope.jp/61503/221028213754-635bcd22a8da0.pdf>



出典:カムデン気候
市民会議.

<https://www.camden.gov.uk/documents/20142/0/Camden+Citizens%27+Assembly+on+the+Climate+Crisis+-+Report.pdf/947eb4e5-5623-17a1-9964-46f351446548>

カムデン気候市民会議

主催: ロンドン特別区カムデン・カウンスル(2019年7月に計3回。参加者約50名。人口約27万人)。

ミッション: カムデンが気候危機に最も効果的に対処できる方法を提言すること。

政策提言: 2019年9月報告書を提出。17のアクション。新築住宅のゼロカーボン化、植樹、より多くの分離された自転車レーンの設置、専門家と住民からなる気候緊急事態精査パネルの設置などを提言。

インパクト: カムデン・カウンスルは気候緊急事態精査パネルを設置

最初のパネルは15名で構成され、2020年10月から2年間、四半期ごとに開催された。第2期(2022～2025年)は2025年初頭まで年3回会合が開催される予定。カムデン・カウンスルは、一般市民の声を気候アクションプランに反映させるため、随時Webでも市民の声を募っている。

オックスフォード気候市民会議

主催: オックスフォード・カウンスル(2019年9月と10月に計2回。参加者42名。人口約15万人)

ミッション: 「オックスフォードは、**2050年よりも早く「ネットゼロ」**を達成すべきではないか? そのために、私たちはどのような**トレードオフ**を行う準備ができているか?

政策提言: 提出されたシナリオに基づいて、建物、運輸、再生可能エネルギー、生物多様性とオフセット、廃棄物の5分野を議論。2019年10月20日に投票。個人的に何ができるかを理解するためにより多くの教育と情報提供の要望、建築基準の改正や持続可能な資源の活用、カウンスルはネットゼロ達成のための共通のビジョンと戦略を提示することなどを提言。

インパクト: オックスフォード市の気候行動計画を含む、持続可能性戦略(2020)への反映



出典: オックス
フォード気候市民
会議報告書.
<https://www.oxford.gov.uk/downloads/file/2040/oxford-citizens-assembly-on-climate-change-report>



オックスフォード市民陪審

主催: オックスフォード大学(2022年6月と7月に計4回、参加者**16名**)。

ミッション: 健康を増進する気候に優しい方法で、人々がオックスフォードで移動する方法。

政策提言: 2022年9月にカウンシル・キャビネットに最終報告書を提出。バス優先機能、若者、障害のある居住者、55歳以上の高齢者などに対して、バスの無料または低料金化。スクールバスシステムなどを提言。

特徴: Street Voiceの活用。市民陪審の目的は輸送、気候、健康に関する対策を結びつけること。オックスフォードシャー州議会に提言を提出。

オックスフォード気候市民陪審。

<https://www.gchu.org.uk/2022/06/streetvoice-citizens-jury-first-session/>

気候市民会議の特徴

- 無作為に抽出された市民で構成される。抽出に関しては年齢、居住地、意見、収入などが考慮された層別抽出が適用されることが多い。25名程度から150名程度で構成される。全6回程度の会合が開催される。
- 参加者は、複数の専門家の講義で最新知識を学ぶ。
- 参加者間で熟議を行う。専門のファシリテーターが議論をサポートすることが多い。
- 政策提言を行う。
- 参加者の行動変容に繋がる。政府に対する市民の信頼を高めることに繋がる。

英国ではなぜ多くの気候市民会議/陪審が実施されているのか？

- 気候危機宣言＋気候市民会議＋**実行計画**

英国の多くの地方自治体は気候危機宣言を行っている。気候変動問題を解決するには、そこに暮らす市民の賛同が不可欠。多くの自治体では、気候市民会議の提案を実行計画に反映している。

- 気候変動対策への**市民の理解を深める**

様々な媒体で情報が氾濫している。しかし、理解を深めるためには、科学に基づいた正確な情報を得ることが重要。気候市民会議では、まず市民会議開催の目的が提示され、専門家から分かり易い説明が行われた後、市民の理解を深めるための熟議が行われ、提言が作成される。

- 気候市民会議に参加していない**一般市民の関心をも高める**

ウェブを通じて、一般の市民からも意見を募る自治体が多い。また、マスコミに取り上げられることでも関心が高められる。

気候市民会議のインパクト

- 政策：提言が政策に反映される。市民の理解を得た政策の実行。
- 社会：話合いの場、学習の場、気候変動に対する市民の理解が深まる。市民活動の拡大。
- 民主主義：代表制民主主義に代わるものの模索。現在の間接代表制民主主義の欠陥として、長期的視野の欠如や公共の利益より政党の利益の優先などが挙げられている。

気候市民会議のインパクトの例

	実践への影響	考え方への影響	能力構築への影響
政策	気候政策や法律の変更、およびそれに伴う気候変動対策 政治的議論の変化	多様な国民の視点に対する政策立案者の知識と理解への影響 対策における役割と責任の明確化	気候政策への理解と統合のための能力構築 政治的連合、ネットワークあるいは超党派の協力の構築
社会	市民の行動変容 報道への影響 企業の対応の変化	気候変動の実態と原因の理解 気候変動に対処する行動の責任の明確化	気候変動イニシャティブを立ち上げるための能力開発 政策立案と連携するグループの設立
民主主義	民主主義の形態の変化 システム思考の活用	熟議プロセスへの理解の進展 自然生態系への影響なども考慮した気候変動対策の理解	熟議プロセス実行のための能力構築 システムの視点からの気候変動対策の能力構築

今日話したこと

- 英国における気候市民会議/市民陪審
- 気候市民会議/市民陪審の特徴
- 気候市民会議/市民陪審のインパクト

ご清聴ありがとうございました